

JPNIC（日本ネットワークインフォメーションセンター）

1.役割と位置付け

インターネットで使われるドメイン名やIPアドレスは、どのプロバイダーに接続しようとも、相互に通信できるために、一意（すなわち、世界中で同じものがない）でなければならない。したがって、インターネットの利用者およびそのサービスを提供するプロバイダーにとって、これら共有資源であるアドレスなどを管理する共通のセンターが必要となる。日本ネットワークインフォメーションセンター（JPNIC）は、国内のプロバイダーが共同で設立し、運営する組織である。

図1に示すように、JPNICは国際的な一意性を保持するため、インターネットにおけるアドレス管理機構の上位機関であるAPNICやIANAと関係を取りながら、国内の利用者に対し、IPアドレスやJPドメイン名の割り当てを行っている。ただし、IPアドレス割り当てについては、プロバイダーへ割り当てを委任し、一般の利用者は、プロバイダーから割り当てを受ける形になっている。また、ドメイン名も、プロバイダーを経由して申請できるようになっている。

JPNICは国際的なインターネットでの割り当て原則に基づいて、国内での割り当ての方針を作成する。実際の窓口がプロバイダー経由となっても、プロバイダーは、JPNICの定める方針に従って割り当てを行い、必要に応じてJPNICへ審議を依頼し、割り当て結果を報告する仕組みとなっている。

割り当てたIPアドレスやJPドメイン名の対応付けを行うDNSは、分散的に管理されているが、日本ではその根本のサーバーをJPNICで管理し、それを国際的なサーバーに登録する階層構造になっている（図1）。JPNICでのIPアドレスやJPドメイン名割り当ておよびDNS登録に関する情報は、JPNICにあるデータベースで管理され、これを国内外へ公開している。またこれらのデータの記録から、各種の統計情報も提供している。

JPNICはその役割の重要性から、中立的である組織形態を取り、資金的にも寄付金などにも頼らない安定した財政構造をとっている。また、円滑なインターネットの発展を阻害しないために迅速な処理を心がけ、オープンな場での議論や情報公開を積極的に行い、国際的な協調の下で活動を続けている。

2.情報提供

基本的に、利用者は接続するプロバイダーを窓口として、接続に必要なアドレスの割り当てを受けることができる。プロバイダーの担当者と相談すれば、必要な情報を得られ、大方のことは済む。JPNICに対するドキュメントの入手から申請まで、すべてインターネット上で行え、また、JPNICでの処理も大部分が省力化のため、自動化されている。JPNICに関する資料の入手、公開情報へのアクセスは、WWWで<http://www.nic.ad.jp/>を参照して欲しい。以下に、電子メールでの情報入手先、および連絡先のアドレスを示す。

・ドキュメント自動返送サービス (本文が空のメールを送る)

JPドメイン名 …………… info@domain.nic.ad.jp

IPアドレス …………… info@ip.nic.ad.jp

データベース …………… info@db.nic.ad.jp

DNS …………… info@dns.nic.ad.jp

一般 …………… mail-server@nic.ad.jp

・人が対応する窓口

一般的な質問 …………… query@nic.ad.jp

事務局へ問合せ …………… secretariat@nic.ad.jp

御意見受付 …………… goiken@nic.ad.jp

苦情受付 …………… kujo@nic.ad.jp

3.より安定した運用へ向けて

JPNICの果たす役割は、円滑なインターネットの発展に欠かせない。したがって組織の法人化を含め、より安定した運用体制へと努力を重ねている。その一貫として95年12月に、それまでお世話になっていた東京大学大型計算機センター内から独立し、下記に新事務所を構えた。なお、93年4月の発足時20だった会員数も、96年2月末現在で98にまで急増した。その大半が商用プロバイダーである。

(平原正樹)

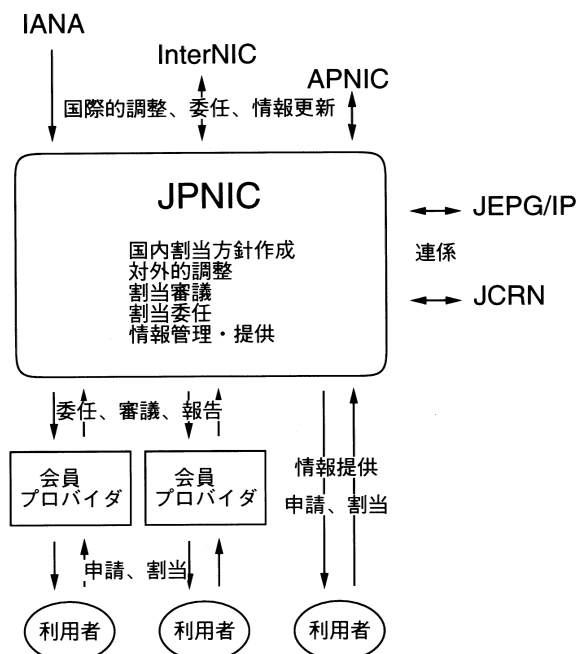


図1 JPNICの割り当て業務



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp